

日本発イタリア便り～イタリア文化の洗礼～

ラテンの国、イタリア。日本文化と大きく違うことは言うまでもなく、同じヨーロッパのドイツとも相当違います。

初めてのフィレンツェ旅行の際には「女性の一人旅におけるイタリア男性の危険(?)」の洗礼を受け(でもその後、簡単かつ効果的な撃退法を編み出しました。知りたい方は個別にどうぞ。☺) 今回の旅行でも、なんとというか、怒る気にもなれず、反対に「ものすごくイタリアらしいな。」と逆に感心してしまうような「洗礼」を、今回は3つ体験！

時間の捉え方

ローマからフィレンツェへの移動には、鉄道を使いました。イタリアの国際高速特急の名前は「ユーロスター」(フランスと一緒にですね。)ローマ フィレンツェは約 1.5 時間です。



こんな電車です。全席指定なので、必ず予約が必要です。

荷物も多いし、早めに駅に到着して、電車に乗り込むと、国際列車の割に、荷物を置くスペースが少なく、なんとか荷物を片付けるのに大騒ぎ。これはドイツでもそうですが、スーツケースなんかは、座席の上にある「網棚」みたいな所にどんどん押し込みます。(もちろん、日本の新幹線の棚よりは広くてしっかりしていると思います。でも飛行機の棚みたいにふたがあるわけではないので、思い切り揺れたらどうなるんだろう?と思います。)

発車の10分前になっても車内はまばらで、「お?空いてる?」と思いきや、残り5分あたりから、わらわら人が乗ってきて、荷物を収納するやら、自分の席を探すやらで大騒ぎなので、本当に定時に発車するのか?と思いきや、何事もなかったように+なんの前触れもなく、定時に出発!特急のはずなのに、スピードは遅いし、時々駅でもないところで止まったりするのでおかしいな?とっていたら、そろそろ定刻なら30分くらいでフィレンツェ到着!という頃になって、やっと「線路の工事で電車遅れてます。25分位遅れの予定。ごめんね。」というアナウンスが入りました。ここが日本なら、一斉に携帯電話かけまくる。ってな人もいると思いますが、驚く人も怒る人もおらず、「慣れてる」って感じでした。25分といいながら、到着したのは結局約1時間遅れ。みんな何事もなかったように降りていきました。慣れなのか、時間の捉え方の違いなのか?なかなか興味深いです。



駅で見かけた、とってもかわいい電車。

ストライキ

やっとフィレンツェに到着して、その日の最大のイベントは「ウフィツィ美術館」鑑賞！当日並ばなくてもいいように、前もって予約をしておきました。

午後早い時間の予約だったので、軽くお昼を食べて美術館へ向かいました。

そうしたら、なにか風景がおかしい！いつも長蛇の列ができていたのに、がらーんとしています。

なんと！「ストライキにつき、本日 閉館」という張り紙が…。ストライキ、イタリア語では「Sciopero(ショーペロ)」といいますが、交通機関等を中心に「頻繁にある」とは聞いていたものの、美術館でもあるとは！あとで聞くと、美術館のストライキは結構珍しいとのことでした。残念ではありますが、次のために「行きたいところ」を残しておくのも良いのかもしれない。



本日ストライキにつき、閉館の張り紙。

イタリア式ホスピタリティ？

あるレストランで食事の際、やっとメニュー選びが終わり、注文をしました。前菜のあと、次の料理が運ばれてきたのですが、どう考えても頼んだものと違うものが来ました。係のおねーさんに、「これ注文してない」と抗議すると、「それは知ってる。でもその料理が品切れになっちゃったから、似てるもの作ってもらったの！それ、美味しいから試してみて！」と、おねーさんは、肩をたたいて、ウィンクして去って行きました。で、料理は言葉の通り美味しかったので、文句はないのですが、日本だったらあり得ない状況だなあ。と。お皿を下げにきたときには「どうだった？」と感想を求められ、「美味しかった！」というと「でしょ？」気が利いているのか、押し付けられているのか微妙なところではありますが、イタリア風のホスピタリティも悪くないな、と思いました。



代わりに運ばれてきた一品。パスタではあるのですが、日本では食べたことも見たこともないものでした。でも美味しかったので満足です。

好き嫌いの特にない人は「お勧めはなに？」と聞くのも正解ですね。思いがけないおいしいものにめぐり合えるのではないかと思います。食べ物話はまた今度！

「郷に入っては郷に従え」という諺がありますが、真実ですね。

「違い」を「不快」と思って否定するか「そんなもんか？」と思って受け入れるか、それは受け取る人にもよると思いますが、私は、今回イタリア文化の洗礼を一気に三つも受けて、それなりに被害をこうむったにもかかわらず、それでもめげずに、さらにイタリア好きになりそうです。◎